

2024年12月期決算(連結)参考資料

2025年2月14日

グリーンランドリゾート株式会社

(証券コード:9656)

<https://www.greenland.co.jp/ir/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想や今後の計画等は、現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。今後、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動するリスクや不確実性が存在します。

従いまして、業績予想や今後の計画等の実現を保証するものではありません。

目次

1. 2024年12月期決算	3
2. 2025年12月期業績予想	7
3. 業績推移	8
4. 第46期(2024年12月期)期末配当	9
5. 役員等人事	10
6. 役員新体制	14
7. 2025年の取り組みについて	15

1. 2024年12月期決算

① 連結決算概要

(単位:百万円)

	2024年	2023年	増減	増減率
売上高	6,412	6,406	5	0.1%
売上総利益	1,454	1,535	△80	△5.2%
営業利益	774	888	△114	△12.9%
経常利益	780	891	△110	△12.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	534	463	70	15.2%

【概況】

当社グループにおきましては、各種経済活動の正常化の動きと合わせ、インバウンドを含む人流の回復が順調に進む中、新たに策定した「中期経営計画2026」の下、積極的な集客施策に取り組みましたが、物価高騰による個人消費の抑制の動きも見られたほか、ゴールデンウィークや猛暑に見舞われた夏休み期間における利用者数が伸び悩むなど、各セグメントの利用者数は、新型コロナウイルス感染症の5類指定に伴う行動制限の緩和や全国旅行支援事業の影響で好調であった前期と比べて減少いたしました。

以上により、当連結会計年度の業績につきましては、売上高はほぼ前期並みの水準となり、売上総利益・営業利益・経常利益ともに前期を下回りましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は前期に大きな減損損失の計上等があったこともあり、前期を上回る結果となりました。

② セグメント別売上高・損益

(単位:百万円)

	売上高			セグメント損益		
	2024年	2023年	増減	2024年	2023年	増減
遊園地事業	2,894	2,922	△27	822	906	△84
ゴルフ事業	1,046	1,073	△27	87	112	△24
ホテル事業	1,962	1,933	29	95	123	△27
不動産事業	163	162	1	107	103	3
土木・建設資材事業	345	315	29	69	40	29
消去又は全社	—	—	—	△407	△397	△10
合計	6,412	6,406	5	774	888	△114

【遊園地事業】

売上高：九州の遊園地は、春のフロアイベントや園内に新設したステージを舞台としたオリジナルショー、VTuberや大人気ゲームとコラボレーションしたイベント、季節毎に趣向を凝らした花火大会など、1年を通して話題性の高いイベントを開催しました。

施設面では、春に新規アトラクション「サブマリンシューティング」を導入し、夏季限定の「ウォーターパーク(プール)」では、「波のプール」の再開に加え、ウォーターキャノンなどを用いた特別ショーを開催し、夏休みの集客を図りました。

また、開園以来初めてとなる休園日設定の取り組みを行い、園内各施設の保安強化と拡充を図るとともに、全スタッフのワークライフバランスの確立により、新たなサービス創造と一層のサービス向上に努めました。

北海道のスキー場は、2月の天候不良での落ち込みが大きく、利用者数は減少しましたが売上高は増加しました。また、北海道の遊園地は、多彩なキャラクターショーのほか、人気インフルエンサーのライブショーなど、話題性の高いイベントを開催するとともに、年3回の大規模な花火大会や北海道最大級の野外音楽フェス「JOIN ALIVE(ジョインアライブ)」など、スケール感のあるイベント開催で多くの集客を図りました。さらに、いわみざわ公園管理においては、4月より新たに「利根別自然公園」などの指定管理者の指名を受け、収益基盤の安定化を図りました。

この結果、売上高は前期比27百万円減収(△0.9%)の2,894百万円となりました。

セグメント利益：売上高の減少及び売上原価が増加したことにより、前期比84百万円減益(△9.3%)の822百万円となりました。

【ゴルフ事業】

売上高：グリーンランドリゾートゴルフコースでは、趣向を凝らした多様なオープンコンペを開催したほか、回復傾向にある韓国人ゴルファーの利用促進により集客拡大を図りました。また、自動精算機の拡充やレストランのセルフオーダーシステム導入により、プレーヤーの利便性向上と合わせて効率的な運営を図ったほか、環境に配慮した自家消費型太陽光発電システムを導入し、光熱費の削減にも努めました。

両メンバーシップコースでは、「大牟田ゴルフ場」における開場50周年記念コンペなどをはじめ、各種大型ゴルフコンペの利用回復に注力しました。また、キャディ付プレーの促進やきめ細やかなプレープランの造成による客単価増加に取り組んだほか、コース内への企業広告看板誘致により収益向上を図りました。

この結果、売上高は前期比27百万円減収(△2.5%)の1,046百万円となりました。

セグメント利益：売上高の減少に伴い、前期比24百万円減益(△21.9%)の87百万円となりました。

【ホテル事業】

売上高：九州のホテルブランカでは、遊園地やゴルフ場に隣接するオフィシャルホテルとしての利便性をPRして、ファミリー客を中心に集客を図りました。また、料飲部門においては、多彩な味が楽しめる鍋バイキングや遊園地を望む中庭バーベキューのほか、プールを含む遊園地利用客の着実な取り込みにより、売上拡大を図りました。

九州のホテルヴェルデでは、開業30周年を迎え、客室をはじめ様々な館内設備のリニューアルに取り組むとともに、宿泊部門において、OTA(オンライン・トラベル・エージェント)ならびに自社予約を活用して、客室稼働率ならびに客室単価の増加を図りました。料飲部門においては、和食レストラン「小岱」では、地元の食材をふんだんに使った料理をPRし、洋食レストラン「フォンターナ」では、好評なランチバイキングに加え、スイーツバイキングなどの特色あるイベント開催により、集客ならびにリピーターの確保に努めました。

北海道のホテルサンプラザでは、遊園地のオフィシャルホテルとして、また、駅に近い好立地を活かして、ファミリー層から団体客ならびにビジネス客まで、幅広いターゲット層の集客を図りました。また、スキー場や近隣ゴルフ場の利用との宿泊セットプランの造成により、好調なインバウンドの取り込みにも注力いたしました。料飲部門においては、好評なランチバイキングを中心に集客を図り、宴会部門においては、新たな宴会予約システムを導入し、定期的なイベント開催と合わせ収益拡大を図りました。

北海道の北村温泉ホテルでは、「源泉掛け流し43℃の名湯」を強みとして、日帰り利用などのリピーターを確保するとともに、スノートレッキングなど季節毎の体験が楽しめる短期滞在型の「新湯治プラン」をPRして集客拡大を図りました。

この結果、売上高は前期比29百万円増収(+1.5%)の1,962百万円となりました。

セグメント利益：売上高が増加したものの売上原価が増加したことにより、前期比27百万円減益(△22.7%)の95百万円となりました。

【不動産事業】

売上高：既存テナントの賃貸料改定を着実に取り進めており、売上高は前期比1百万円増収(+0.7%)の163百万円となりました。

セグメント利益：売上高の増加に伴い、前期比3百万円増益(+3.8%)の107百万円となりました。

【土木・建設資材事業】

売上高：バイオマス火力発電所への燃料投入業務が大きく伸びたことに加え、一般土木工事受注も好調に推移したことで、売上高は前期比29百万円増収(+9.4%)の345百万円となりました。

セグメント利益：売上高の増加に伴い、前期比29百万円増益(+71.7%)の69百万円となりました。

2. 2025年12月期通期連結業績予想

(単位:百万円)

	2025年予想	2024年実績	増減	増減率
売上高	6,700	6,412	287	4.5%
営業利益	710	774	△64	△8.4%
経常利益	690	780	△90	△11.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	480	534	△54	△10.2%

※ 上記業績予想の数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は上記予想の数値と異なる可能性があります。

3. 業績推移

連結(通期)

(単位:百万円)

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年 予想
売上高	5,754	5,732	6,406	6,412	6,700
営業利益	34	763	888	774	710
経常利益	202	820	891	780	690
親会社株主に帰属する 当期純利益	△1,477	428	463	534	480

※「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2022年12月期の期首から適用しており、2022年12月期以降の連結(通期)業績推移については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

4. 2024年12月期期末配当の件

当社は、株主に対する安定的な配当を経営の重要政策の一つとしており、1株当たり11円の期末配当を実施する予定としております。

なお、2024年12月期第2四半期末(中間期末)におきまして、中間配当として1株につき5円の配当を実施しております。また、直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移は下記のとおりです。

(参考)直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
第2四半期末	0円00銭	2円00銭 普通配当2円00銭	3円00銭 普通配当3円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭
期 末	0円00銭	2円00銭 普通配当2円00銭	9円00銭 普通配当9円00銭	9円00銭 普通配当9円00銭	11円00銭 普通配当11円00銭
年 間	0円00銭	4円00銭 普通配当4円00銭	12円00銭 普通配当12円00銭	14円00銭 普通配当14円00銭	16円00銭 普通配当16円00銭

5. 役員等人事

2025年3月28日開催予定の定時株主総会において正式に決定

1. 代表取締役の異動

(1) 異動の内容

氏名	新役職名	現役職名
江里口俊文	相談役	代表取締役会長

(2) 異動の理由

2025年3月28日開催予定の第46回定時株主総会終結の時をもって、任期満了により取締役を退任することに伴い、代表取締役を退任いたします。

(3) その他

当社の代表取締役は、江里口俊文氏及び松野隆徳氏であります。本件異動により松野隆徳氏の1名となります。

5. 役員等人事

2025年3月28日開催予定の定時株主総会において正式に決定

2. 新任取締役候補

◆取締役 富山 裕人(とみやま ひろと) 1971年4月13日生 53歳

【略 歴】

1994年 4月 当社入社
2019年 4月 当社遊園地事業部次長
兼イベント企画課長
兼宣伝広報課長
2023年 4月 当社遊園地事業部部長
兼遊園地支配人
兼イベント企画課長
兼宣伝広報課長
2023年 6月 当社遊園地事業部部長
兼遊園地支配人(現任)

5. 役員等人事



2025年3月28日開催予定の定時株主総会において正式に決定

2. 新任取締役候補（社外取締役候補）

◆取締役 大塚 晶子(おおつか あきこ) 1969年10月24日生 55歳

【略 歴】

1992年 4月	株式会社肥後銀行入行
2014年 4月	同行 業務統括部業務企画グループ副企画役
2016年 6月	同行 人事部詰 株式会社九州フィナンシャルグループへ出向 業務・IT統括部シニアマネージャー
2019年 4月	同行 CR統括部法務・コンプライアンス統括グループ グループ長
2021年 4月	同行 人事部詰 株式会社九州フィナンシャルグループへ出向 広報・IR部長
2024年 4月	株式会社九州フィナンシャルグループ執行役員 広報・IR部長(現任)

5. 役員等人事



2025年3月28日開催予定の定時株主総会において正式に決定

3. 退任予定取締役

氏名	現役職名
江里口俊文	代表取締役会長
重光敬明	常務取締役 空知リゾートシティ株式会社代表取締役社長
幕 幸	取締役 施設部長
別府正文	取締役 有明リゾートシティ株式会社取締役宿泊料飲部長
最上 剛	取締役(社外取締役) 肥銀リース株式会社代表取締役社長

※江里口俊文氏は、当社相談役に就任予定であります。

重光敬明氏は、グリーンランド開発株式会社取締役会長に就任予定であります。

また、別府正文氏は、ゴルフ事業部総支配人兼不動産事業部長に就任予定であります。

なお、子会社の役員等の異動につきましては、各社にて開催予定の定時株主総会において正式に決定いたします。

6. 役員新体制



当社の役員新体制は以下のとおりの予定であります。(2025年3月28日付)

役職名	氏名	業務担当・委嘱
代表取締役社長	松野 隆徳	社長執行役員
取締役	寺田 尚文	常務執行役員 空知リゾートシティ(株)代表取締役社長
取締役	佐伯 賢二	常務執行役員遊園地事業部長
取締役	田中 宏昌	執行役員営業部長 有明リゾートシティ(株)代表取締役社長
取締役	富山 裕人	執行役員経営管理室長
取締役	山下 秋史	社外取締役 (西部ガスホールディングス(株)代表取締役副社長執行役員)
取締役	大塚 晶子	社外取締役 (株式会社九州フィナンシャルグループ執行役員)
監査役	岡部 雅彦	常勤監査役
監査役	中尾 哲郎	社外監査役 (弁護士法人中尾総合法律事務所所長)
監査役	水本 忠敬	社外監査役 (税理士法人青い鳥サポート代表社員)
監査役	藤田 直己	社外監査役 (公認会計士藤田直己事務所所長)

7. 2025年の取り組みについて



【遊園地事業】

①グリーンランド遊園地(九州)

新規アトラクションの導入に加え、園内飲食物販店舗のリニューアルを行います。また、夏季のプール施設の拡充や園内涼感演出の取り組みにより夏場の暑さ対策を強化し、大規模な花火大会のほか、年間を通じた多彩なイベント開催により、集客拡大を図ります。

■新規アトラクション導入

○「ウェーブスインガー GURUGURU」 3月1日(土)オープン

大人気アトラクション「ウェーブスインガー」が、サイズも迫力も大幅にスケールアップして新登場！

○「黄金ハンター ～7つの挑戦～」 3月1日(土)オープン

「財宝探し」をテーマとして、様々な仕掛けをクリアしながらパビリオンを巡る体験型アトラクションです。

■春のイベント

○「キミとアイドルプリキュア♪キラッキランラン♪フェスタ♡」

期間:3月15日(土)~5月6日(火・休) 計53日間

大人気の「プリキュア」シリーズの最新作のパビリオンを展開いたします。

プリキュアの世界観を体験出来て、一緒に踊れるダンスステージも開催！

○「仮面ライダーガヴ スペシャルショー」

期間:3月16日(日)、4月29日(火・祝)、5月5日(月・祝) 計3日間

◆上記以外にも、人気VTuber等のライブのほか、多彩なキャラクターショーを適宜開催いたします。

■「HANABIフェスティバル」

3月29日(土)

■GW打上花火ショー

5月3日(土・祝)・4日(日・祝)・5日(月・祝)

【遊園地事業】

②北海道グリーンランド遊園地

■春イベント

◆バラエティに富んだキャラクターショー開催

- ・「ウルトラヒーローズスペシャル」ショー
- ・「すみっコぐらし」ショー
- ・「仮面ライダーガヴ」ショー
- ・「キミとアイドルプリキュア♪」ショー
- ・「ナンバーワン戦隊ゴジュウジャー」ショー

■新規アトラクション導入 ファミリー向けアトラクション「飛ぶゾウくん」導入(7月頃予定)

■夏～秋イベント(予定)

- ・子ども達に人気のキャラクターショー開催
- ・大型音楽イベント「JOIN ALIVE 2025」(ジョインアライブ)
- ・大規模花火大会を3回開催
 - 「いわみざわ彩花まつり花火大会(7月)」・「いわみざわ公園花火大会(8月)」・
 - 「タマホームスペシャル花火物語(9月)」

③いわみざわ公園(「バラ園」・「パークゴルフ場」等)

- 夏・秋のバラの見ごろに合わせて、「ローズフェスタ」を開催し、パン祭りの拡充で更に盛り上げを図る。
- 新たなゴルフ大会の開催誘致と合わせ、地元農産物販売等による収益拡大を図る。
- 新たに指定管理業務を受託した「利根別自然公園」等を活用したアウトドアイベントにより集客する。

【ゴルフ事業】

- 荒尾市、大牟田市、広川町(久留米市)の3つのゴルフ場において、各コースが持つ強みとそのスケールメリットを活かした集客施策に取り組む。
また、カート道路補修や樹木の伐採・剪定などのコース整備に加え、各設備の更新や利便性向上など、顧客満足度向上に重点的に取り組む。
- 「グリーンランドリゾートゴルフコース」では、季節毎にテーマを変えたオープンコンペを開催するとともに、競技大会開催に向けた練習ラウンドでの利用促進等で集客拡大を図る。
また、外部予約サイトの活用をはじめ、効率的な予約管理で利用者拡大を図る。
- 「大牟田ゴルフ場」ならびに「広川ゴルフ場」の両メンバーシップコースでは、インバウンド客の受け入れならびにSNSを活用した情報発信の強化で集客を図る。
また、「大牟田ゴルフ場」においては、カート台数の拡充により繁忙時期の利用者数の拡大を図る。
- ゴルフカートのコース内乗り入れサービスによるプレー環境の快適性ならびに利便性の高さをPR。
- 適正な緑地管理によるCO2吸収効果の促進、太陽光発電装置の運用、プラスチックゴミ削減など、引き続き、環境に配慮したSDGsへの取り組みに注力。

【ホテル事業】

①ホテルブランカ・ホテルヴェルデ

【ホテルブランカ】

- ・週末や長期休暇期間は、遊園地、プール、ゴルフ場に隣接する強みを活かしたお得な宿泊プランの販売促進に努める。
- また、平日においては、客室のコントロールに注力し、ビジネス客やインバウンド客の取り込み拡大を図る。
- ・特色ある鍋バイキングや遊園地を望む中庭でのバーベキューを中心に、朝食メニュー及び昼食バイキングのメニュー充実化に取り組み、更なる利用促進を図る。

【ホテルヴェルデ】

- ・グリーンランドリゾートのオフィシャルホテルとしての強みを活かして集客拡大を図る。
- ・開業30周年を記念した「こだわりの朝食」をテーマとした限定プランを造成し、話題性を喚起するとともに、平日や閑散期において、観光客からビジネス客まで幅広い集客を図る。
- ・和食レストラン「小岱」では、季節毎の趣向を凝らした正統な日本料理が味わえることを強みとして、地元客を中心に利用促進を図る。
- また、洋食レストラン「フォンターナ」においては、多彩なランチバイキングによる団体獲得やスイーツバイキングなど話題性の高いイベント開催で集客を図る。
- ・スイートルームの改装を行うほか、ホテルならではの多彩な演出を加えた婚礼・宴会プランなど、収益性の高いご利用プランの販売に注力。

【ホテル事業】

②ホテルサンプラザ・北村温泉ホテル

【ホテルサンプラザ】

- ・駅に近い好立地を活かして、ビジネス客や、スポーツ大会関係者など各種団体の利用促進を図る。
- ・近隣ゴルフ場と連携し、韓国からのゴルフツアーをはじめとするインバウンド客の取り込みを図る。
- ・朝食メニュー拡充のほか、ランチタイムの新プラン造成による利用拡大を図る。
- ・「沖縄ちむどんどん祭り」などの特色ある料飲イベント開催により、ホテルの魅力をPRする。

【北村温泉ホテル】

- ・「源泉掛け流し43℃の名湯」ならびに強塩泉で保温効果の高い「温まりの湯」を強みとして打ち出し、集客を図る。
- ・観光やアクティビティにかかる費用も全てセットにした「オールインクルーシブプラン」の造成により、数日間の短期滞在型の利用促進を図る。
- ・地元産食材をふんだんに使用したメニュー作りで集客を図る。

【不動産事業】

- ・既存テナントにおける賃貸料の改定を着実に取り進めるとともに、遊園地周辺の社有地への新規テナント誘致に注力いたします。
また、行政に対する社有地の用途変更の要請を行うなど、積極的な遊休社有地の活用促進を図る。

・グリーンランドリゾートエリアの変遷

- 1966年 7月 三井グリーンランド遊園地営業開始
- 1966年 9月 三井グリーンランドゴルフ場営業開始
- 1968年 9月 三井グリーンランドホテル営業開始
- 1994年10月 ホテルヴェルデ営業開始
- 1995年 6月 モナコパレスグリーンランド店オープン
- 2003年11月 ヌルボンガーデン荒尾オープン
- 2005年 4月 パスカワールドグリーンランド店オープン
- 2006年11月 グリーンスマイル1番館オープン
- 2008年 4月 グリーンスマイル2番館オープン
- 2011年 9月 ナフコ荒尾東店オープン
- 2013年 4月 大規模太陽光発電施設(メガソーラー)供用開始
- 2018年 9月 賃貸アパート「オズハウス I 番館」完成・賃貸開始

【土木・建設資材事業】

- ・バイオマス発電所への燃料投入業務の安定的な受託
- ・当社グループ事業を通じた幅広いネットワークを活かし、ポゾテックやコールサンドなどの建設資材の販売促進
- ・土木工事など新たな業務受注に加え、新規事業に向けた情報収集を積極的に推進